

2017年2月14日(火)山形新聞に掲載！！

白洲の人柄 思い巡らす 山形 蔵王の山荘、知事ら懇談



ヒュッテ・ヤレンで白洲次郎に思いをはせる首長ら
＝山形市蔵王温泉

吉田茂元首相の側近・白洲次郎が建てた山形市蔵王温泉の山荘「ヒュッテ・ヤレン」が4日夜、初めて公的に利用され、吉村美栄子知事、佐藤孝弘山形市長らが足を運んで所有者らと懇談した。

東北電力会長だった白洲が1957（昭和32）年に建てた山荘は、木造2階建てで、延べ床面積70平方メートルほど。吉村知事、佐藤市長、津谷永光北秋田市長らが同日の樹氷サミット終了後、2階のバーカウンターテーブルを囲んだ。蔵王で撮影された白洲のモノクロ写真や、白洲が好んだウイスキー「マッカラン」を手にしながら、その人柄や当時の蔵王に思いを巡らした。

佐藤市長は「白洲が過ごした空間だと思つと、どきどきする。この蔵王をもっと発展させたい」と述べ、管理に携わるNPO法人「元気・まちネット」（東京都）の矢口正武代表理事

（戸沢村出身）は「今後の使い方を工夫し、力を借りて県、市の財産として全国のファンに発信したい」と話していた。